

産業建設委員会記録

開 会 年 月 日	令和 6 年11月18日	
開 会 時 刻	午前 9 時58分	
閉 会 時 刻	午前10時53分	
出 席 委 員 名	◎福井輝夫 ○三野泰嗣 上村和生 北村 勝	
	野口佳子 品川幸久 宿 典泰	
	藤原清史 議長	
欠 席 委 員 名	なし	
署 名 者	上村和生 北村 勝	
担 当 書 記	森田晃司	
審 査 案 件	継続調査案件	所管事業の令和 6 年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について
説 明 員	都市整備部長、都市整備部次長、都市整備部参事、基盤整備課長、	
	住宅政策課長、産業観光部長、産業観光部参事、観光振興課長、	
	観光振興課副参事、観光誘客課長、情報戦略局長、情報戦略局次長、	
	財政課長、その他関係参与	

審査経過

福井委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に上村委員、北村委員を指名した。

その後、直ちに議事に入り、継続調査となっている「所管事業の令和6年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」を議題とし、当局から報告を受け、今回で調査を終了することを決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時58分

◎福井輝夫委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において、上村委員、北村委員の御両名を指名いたします。

本日の案件は継続調査となっております「所管事業の令和6年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

【所管事業の令和6年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について】

◎福井輝夫委員長

それでは、「所管事業の令和6年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」の御審査を願います。

当局の説明をお願いいたします。

財政課長。

●太田財政課長

それでは、「所管事業の令和6年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」、御説明申し上げます。

資料1を御覧ください。

この度、御説明申し上げます予算の執行状況等は、各常任委員会から御指示のありました17事業について作成したものでございます。産業建設委員会所管分の執行状況については、14ページから19ページに掲載の6事業が該当いたします。

それでは、14ページをお開きください。

まず、様式について御説明いたします。

上段に事業目的を記載しております。事業内容の欄には、当初予算編成時に想定した内容・計画等を、進捗状況の欄には、特に断りがないものについては、本年11月1日時点における予算執行上の現状を、事業を取り巻く状況等の欄には、事業執行に伴い生じた課題・問題点、今後の展望など、現状分析を行っております。

また、下段の事業費欄に、現計予算額等を記してございますが、執行済額は9月末時点での支出負担行為済額を記載しております。

それでは、各事業の概略について御説明いたします。

まず、排水機維持管理経費（機能更新）です。

本事業は、老朽化が進んでいる農業用排水機場について、長寿命化計画に基づき、設備の更新・修繕を行い、低下した排水能力の回復や施設の長寿命化を図るものでございます。

執行状況としましては、直営事業として、鹿海地区等の事業計画書等の作成、県営事業として、東大淀地区、亀池地区、楠部・楠部第二地区、通地区の補修更新工事などを進めております。

農業用排水機場の老朽化が進行しており、予期せぬ不具合も懸念されることから、予防保全型の施設管理を行い、効果的・効率的な老朽化対策を進めてまいります。また、施設の運転管理について、地元自治会に委託しており、操作員の高齢化が進んでいることから、作業の省力化、安全確保対策に取り組んでまいります。

次に、15ページ、選ばれる観光地づくり推進事業です。

本事業は、第63回神宮式年遷宮の諸行事や、大阪・関西万博を契機として、伊勢市観光振興基本計画に基づき、選ばれる観光地となるようにソフト・ハードの両面の整備を行うものでございます。

執行状況としましては、伊勢市駅手荷物預かり所の機能強化に向けた改修にかかる設計業務、観光危機管理にかかる研修会・防災訓練、視覚障がい者の案内サポート研修の実施のほか、お木曳行事に向けた機運醸成を図るため、子供向けお木曳ロゴマークを活用したポスター、Tシャツなどを作成しました。

インバウンドやバリアフリーなど多様化する観光客ニーズへの対応、自然災害に伴う観光危機管理、地域活動の担い手不足の解消など、持続可能な観光地づくりを進めてまいります。

次に、16ページ、外国人観光客誘致推進事業です。

本事業は、人口減少による観光客の自然減少への対応の一環として、次世代の柱となり得る外国人観光客を誘致し、地域経済の活性化を図ろうとするものでございます。

執行状況としましては、「The Study of ISE」ブランディング戦略事業として、旅行商品の造成に参画する事業者に向けた説明会の開催、欧米訪日客向け旅行会社による事業者訪問を行いました。また、皇學館大学と協働で実施する、外国人の短期留学生招聘について、委託契約を締結し、留学生の募集を行いました。

訪日外客数は増加しているものの、伊勢市を訪れる外国人の割合は低い状況となっており、今後も様々な団体と連携し、引き続き伊勢の歴史や文化の発信による文化観光の推進や認知度向上を目指した事業を展開してまいります。

次に、17ページ、排水機場維持管理経費（ポンプ場機能更新）です。

本事業は、老朽化する都市ポンプ場の機能診断による長期補修計画に基づき、予防保全

の考え方で機能更新を行い、効率的かつ効果的な維持管理を行おうとするものでございます。

執行状況としましては、委託業務として、神久ポンプ場の機能診断、工事としまして、宮川排水2号ポンプ、蟹田排水機場、いな川排水機場等の補修工事に着手しております。内水排除の役割を担っているポンプ場の老朽化が進んでおり、予期せぬ不具合が懸念されることから、長期補修計画により、施設管理を事後保全型から予防保全型に切り替え、不具合を未然に防止し、浸水被害の軽減を図ってまいります。

次に、18ページ、岡本吹上線改良事業です。

本事業は、都市景観の向上及び災害に強いまちづくりを進めるため、宇治山田駅前の道路、岡本吹上線の電線の地中化を行うものでございます。

執行状況としましては、共同溝整備に伴うガス管や水道管の移設補償の契約を締結、工事につきましては11月に入札を予定しております。

また、7月には国から無電柱化推進事業費補助金の交付決定を受けております。

今後は、国から示された無電柱化のコスト縮減の手引に基づきコスト縮減を図り、三重県と連携して外宮周辺の無電柱化を進めてまいります。

次に、19ページ、住宅・建築物耐震改修等促進事業です。

本事業は、倒壊の危険性が高い木造住宅の耐震化を促進するため、無料耐震診断を実施するとともに、耐震補強設計や耐震補強工事に要する費用の一部を助成するものでございます。

執行状況としましては、耐震補強を促進するため、戸別訪問を実施し、訪問戸数は、1,868戸、うち面談戸数は685戸で、訪問による耐震診断の申し込み数は81件となっております。

1月に発生した能登半島地震及び8月の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表により、市民の防災意識が向上しており、戸別訪問と相まって、耐震診断や耐震補強設計・工事などの各補助金の利用についても、昨年度と比較し増加している状況です。

以上、産業建設委員会所管事業の令和6年度進捗状況及び予算の執行状況等について、概略を御説明申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

◎福井輝夫委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はありますか。

品川委員。

○品川幸久委員

少し教えてください。

例えば、住宅・建築耐震のところなんですけど、今訪問をされておるというところで、今どこの地域を中心に回っておられて、それ以外のところにはどのような発信をされておるのか教えていただきたいと思います。

◎福井輝夫委員長

住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

戸別訪問ですけれども、まず吹上から始めまして、今、ずっと西へ行きまして、辻久留、大倉という辺りを回らせてもらっています。この後、船江、岡本、勢田と展開する予定でございます。

訪問以外のことですが、令和2年から令和5年の間に耐震診断をもう既に受けられた方の中で、その後工事なりの補助事業の適用に進んでおらない方に対して、改めて連絡を取らせていただきまして、訪問させていただいているという状況でございます。

あとは自治会等からのリクエストがございましたら、またそちらにも出向きたいというふうに考えております。以上です。

◎福井輝夫委員長

品川委員。

○品川幸久委員

無料耐震診断の話で、前からこれ続いとる事業で、今回特に力を入れたところなんですけど、このところに前年比でどれぐらいアップしたかというようなところが書いてあると非常に経年のやつがあれば分かりやすいんですけど、これやればやるほど件数が今度は減っていくっていうことになろうかと思うんですけど、前年はどれぐらいあったのか、今回は322件というふうに載っておるんですけど、今まで大体どんな具合であったのか教えていただきたいと思います。

◎福井輝夫委員長

住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

昨年度の、ごめんなさいちょっと同月比で出せるといいんですけども、昨年度の診断につきまして通年で171件でございました。工事が4件といった状況ですのもう倍以上、今年度、工事につきましては現時点で4件でございますが、設計のほうは昨年度は4件のところ、今年15件に今なっておりますので、この後、工事が増えるものというふうに見込んでおります。以上です。

◎福井輝夫委員長

品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございました。倍増しとるということで、成果があったのかなと。またそれプラス、やっぱり能登の震災であったり、そういうところが住民の方に大きく意識的なものを持たせたのかなというふうに思っておりますので、しっかりとこのまま取り組んでいただきたいと思います。

それと、外国人観光客誘致推進事業の中で、これ観光ですけど、先ほど、インバウンドところの話の中で、伊勢にインバウンドはなかなか少ないっていうふうなところがあったと思うんですけど、原因はどういうことで、どう対処をしていくのかちょっと教えていただきたいと思います。

◎福井輝夫委員長

観光誘客課長。

●北村観光誘客課長

外国人につきましてはなかなか少ないという状況になっているところですが、コロナ明けてから一回今インバウンドが戻ってきた現状につきましては、東京から大阪間いわゆるゴールデンルートと呼ばれるところ、こちらのほうに再度戻ってきたというような状況で、今そこから地方にどういう形で回していくかっていうところをいろいろ関係団体と調整しながら行っているところです。

その中で、伊勢市として外への発信、またに日本に來ている外国人に対してのプロモーションというのもこれから必要になってくるであろうと思っておりますので、伊勢単独でやっていくのか、それとも広域連携でやっていくのか、その辺も含めながらいろいろ協議しながら実施していきたいと考えております。以上です。

◎福井輝夫委員長

品川委員。

○品川幸久委員

この間ちょっとコンベンションの須崎君ですよ。ちょっと話も聞かせてもらったんですけど、やっぱり発信の仕方がちょっと弱かったん違うかなというような講演であったような気がしました。やっぱり伊勢市もそこら辺は何を主にこういうふうな、よそでね、インバウンドが全国的にコロナ前に戻ってきて、増えてるところがたくさんあるんですよ。よそ行くともう入れない、渋滞がいっぱい、今紅葉の時期なんでね、そういうことが種々テレビで報道されとるわけなんで、そこら辺に伊勢市が足らん部分というのは、やっぱり把握してやらんとなかなか進まないんじゃないかなと思うんですよ。インターネットを聞いても伊勢神宮っていうて出すと出てくるかも分かりませんが、伊勢市で開くとなかなか見にくい部分もあろうかな、そういうところが非常に大事なところになるかなと思いますので、もう一度お答えを下さい。

◎福井輝夫委員長

観光誘客課長。

●北村観光誘客課長

確かに委員おっしゃるとおり発信の仕方っていうのは重要な部分になってくると思いますので、その辺、ほかのインバウンドで需要が高い地域のやり方であったりとか、その辺

もちょっと勉強しながら、今後生かしていきたいと思っております。以上です。

◎福井輝夫委員長

品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございます。結構です。

◎福井輝夫委員長

他に御発言はございませんか。

上村委員。

○上村和生委員

14ページの排水機維持管理経費（機能更新）について、少しお聞かせをいただきたいと思います。

いろいろここには委託期間等を記載をしていただいておりますけれども、これは計画どおり進んでおるということでよろしいのでしょうか。まず最初にお聞かせください。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

一応予定どおり進んでいるところでございます。

◎福井輝夫委員長

上村委員。

○上村和生委員

ありがとうございます。ここにも遠隔操作というようなことが書かれてあるわけでありましても、安全確保ということで書かれております。一番下の課題のところにも書かれておるのが、「操作人の高齢化が進んでおり、作業の省力化や安全確保の対策が必要である」というふうにされております。遠隔操作化っていうことは、そのことも含んでということですか。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

おっしゃるとおり遠隔操作化によりまして、自宅とか公民館等でポンプ場の操作ができ

るというふうになることでございます。

◎福井輝夫委員長
上村委員。

○上村和生委員

分かりました。今年度もこれ予定をされておる、操作の遠隔化を予定されておるということでもありますけども、今年度何機やってくんですか。

◎福井輝夫委員長
産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

まだ、工事の実施というのはまだ先ですけども、現在計画設計を進めているところで、市内5つの排水機場で進める予定でございます。

◎福井輝夫委員長
上村委員。

○上村和生委員

5つで進めるということでもありますけれども、全体からしたら、まだまだと思うんですけども、その辺、どうして5つということで設計をされとるのか、その辺教えてください。

◎福井輝夫委員長
産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

この5つの選定理由でございますけども、平成29年の台風第21号のときに機場ですとか、周辺が冠水した。そういったことで排水機場に操作に行けなくなった、そういった場所を選定しております。

◎福井輝夫委員長
上村委員。

○上村和生委員

分かりました。5つということでもありますけれども、ほかにもたくさんあったりとか、また確かに排水機場があるところっていうと、かなり川の縁を通行していかないかんということになると、かなりの増水もあるということでもありますので、また今後、方向性等々も地域の皆さんとのお話も聞きながら、また進めていっていただきたいなというふうに思

います。

もう一つだけ聞かせてください。

15ページの選ばれる観光地づくりの中で、事業内容の一番下に書かれてますお木曳行事に向けたまち全体の機運醸成ということで書かれておりますけれども、そこの中にはお木曳行事催行の基盤となる奉曳本部、また、奉曳団連合会の結成支援とまち全体の機運醸成というふうに書かれております。

連合の奉曳団の結成というのは分かりましたけれども、各地域の情勢というのが今どのようになっとなるのか、おつかみでしたらお聞きをさせてください。

◎福井輝夫委員長

観光振興課副参事。

●西村観光振興課副参事

委員仰せの質問にお答えさせていただきます。

各団の結成状況、直近でございますが、陸曳団、外宮領ですね、こちらについてが一応、聞き取りベースではございますが、団結成済みが56%、全体で81団中、45団が結成済みで56%、結成準備中につきましては81団中21団ということで26%で、結成済み、結成準備中、合わせて82%が結成済み、もしくは結成準備中という状態になっておりまして、奉曳本部、奉曳連合会が来年2月11日でございますので、その日に向けて結成という形が何とかできないかという形で、まだちょっと未結成、準備中のところについては情報交換しながら結成に向けた支援、情報共有のほうさせていただいております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

上村委員。

○上村和生委員

課題にも挙げていただいておりますけれども、担い手不足が課題になっとなるということが、多分、その辺のこと、なかなか結成がしづらい原因なんかなというふうには思うわけでありまして、具体的にはどのような支援をその地域の奉曳団の形成に向けて市としてどのように動きがあるのか、その辺だけ教えてください。

◎福井輝夫委員長

観光振興課副参事。

●西村観光振興課副参事

市としての支援って形なんですけど、こちらちょっとまだ、今後の予算計上にはなってくるんですけども、前回のお木曳のときに各団の記録、団ごとの記録というところがなかなか町ごとでも差があるというところなんで、情報の記録の支援という形で各団への補助金とか支援金という形で、まだ予算計上、これからですがそういった形は考えております。

あと、前回の、この平成25年が直近のお白石持ち行事だったんですけども、その時点

でもそもそもやっぱりその団の団員数が少ないっていうところもございます。そういった中で、団としての結成はちょっとなかなか難しいんですけども、周辺の団とか、そういったところに混ぜていただいて、合同で奉曳するという話も前回ありましたし、今回もちょっと情報ベースで確定ではございませんが、そういった形でちょっと単独では難しいんですけども、ちょっと共同で団のほう結成するような話とかも出ています。その辺、また情報を共有しながら困っている団について、そういった方法もあるのではないかという形で提案をしながら支援のほうをしていきたいと考えております。以上でございます。

○上村和生委員

ありがとうございます。

◎福井輝夫委員長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

北村委員。

○北村勝委員

私もいろいろ聞いていただいたんで、住宅・建築物耐震改修等促進事業で1点だけ、すみません、お聞きしたいと思います。

品川委員のほうからちょっと詳しく聞いていただいたので、1点、先ほどの説明の中で、当然、耐震化を促進するために啓発活動として戸別訪問をしていただいているということで、今現在回ってもらった地域も教えていただいて、今度新たなところは自治会から要望があれば回っていただけるような話を聞かせてもらいました。ひとつお聞かせ願いたいのは、その回っていただく中に、職員さんが回ってもらう中に、回られるうちってというのは、あらかじめ自治会のほうで周知しているのか、どういった形で回られてるのか、少しお聞かせください。

◎福井輝夫委員長

住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

まず訪問前に自治会長に連絡を取らせていただきまして、これから何日ぐらいの予定で入らせてもらうということをお告げしてから回らせていただいております。以上です。

◎福井輝夫委員長

北村委員。

○北村勝委員

そういったことで周知していただけてるっていうのはちょっと確認させてもらったけども、どのような形で回っていただけるのかなということで、ちょっと聞かさせてもらった

わけなんですけど、といいますのは、実は回っていただいて、来ていただいて、独り住まいの高齢者が住んでたら、伊勢市からこういう話をいただいたという中に訪問したときに、ちょっと心配するということで相談を受けたわけなんですけども、昨今の家庭訪問をしていただく、すごい大事なことだと思う一方で、テレビ等でいろんな戸別訪問で、特に関東のほうで闇バイトだとか、こういったところのリフォーム関係という言葉の中で、こう回ってみえるというのも気に危惧して、家族の方が「本当にどうなんですか」っていうことで、そういうことっていうことで、いろんな声をちょっと聞かせていただいたので、时期的にタイミングがそういう時期になったということもあると思うんです。ですので、もしこの自治会長さんが回覧でも回していただくとかというのでしたら、多分回ってる時間が、高齢者一人がおる時間に回ってもらっても、家族に相談したときに、こういう状態で回っていただいているんやなという形で思っているのかなということで、もし今後進める中でそういう声もあるという中で、丁寧に進めていただくと、促進のほうでますます効果も、安心して話が聞ける状態になるのかなと思いますので、その点だけお願いして、ちょっと質問というよりは、ちょっとお願いの話になると思うんですけど、よろしくお願いします。もうそれで結構です。

◎福井輝夫委員長

よろしいですか。

他に御発言はございませんか。

宿委員。

○宿典泰委員

17ページの排水機場の維持管理ということで、いろいろ聞かせていただきました。

結果としては浸水被害の軽減ということに重きを置いておるとは思うんですけど、排水機場というのは大変大きなポンプが設置をされてきておるとは思うんですけども、これは順次計画どおり進められておるようでありますけれども、14ページに排水機の維持管理経費ということで、これはもう農業用の排水機が34基あるということですよね。正直農業用の排水機についても、こちらの排水機場で言われるその浸水被害ということについての軽減にもなっておるかと思うんですけども、そのあたりの認識はどのような感じなんでしょうか。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

農業用排水機場ということで、基本的には田んぼとか畑とかそういったところではございますけども、住宅地についても一定の効果があると考えております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

ですから、排水の問題については、やはり農業用排水についても、非常に有効やという捉え方でいいんですかね。私はそのようにしとるもんでどのような認識されておるのかちょっとお聞きをしたかったんですけど。

◎福井輝夫委員長

都市整備部参事。

●濱口都市整備部参事

17ページのほうの都市ポンプ、当然浸水被害のもの、それから先ほど言われました14ページの排水機場も農業用ではありますが、実際大雨のときは、両方使いながら、農業といながらも、やっぱり浸水被害の軽減には寄与しているものだと考えております。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

そういう視点で申し上げますと、やはり排水機場の農業用といえども、このあたりの長寿命化でいろいろと修繕等々、更新もしながらやっていただいておりますと思うんですけど、実際には、農業用といえども馬力っていうんですか。そのポンプの馬力の増強というのか、そういうことをある程度更新の時期にやっていかないと、どのあたりの修繕をやっておるのか、ポンプの能力的なことをあまり触れられてないと思うんですけども、そのあたりは34基についてどのような考え方あるんでしょう。

◎福井輝夫委員長

産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

あくまでも農業用の排水機場ということでございますので、能力アップというのは、今のところ機能を元に戻すと、今落ちている機能を元に戻すということに視点を置いております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

それですと、何度も繰り返しになりますけれども、こちらのポンプ場で言われる浸水被害の軽減ということにはあまり前向きではないというふうに思うんですけども、そのあたりはどうでしょう。

◎福井輝夫委員長
産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

なかなかやっぱり農業用の排水機場ということで、国の補助を使っているところがございますけども、なかなかその能力アップというところにいきませんでして、今現在能力が落ちている、もともとの能力まで戻す、そういったところに視点を置かせていただいているところがございます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

能力を戻すということに、それで浸水対策の被害軽減になるということの認識ということであると、ちょっとやっぱりこれは市民の感覚からすると違うと思うんですけど、できたらそういう農業用排水も含めて排水対策をやっていただくということを突き詰めていけば、やはりある程度の能力を、馬力ですか、能力を増強していくと。それは先ほど言った21号のときの台風被害といいますけれども、そこで見えなかった状況というのは、市内でも随分あるんですよ。それはもう偶然、引き潮のときに大丈夫だったというような状況もあるので、そのあたりはもう少し綿密に考えて、やはりここを更新するときには、能力の向上を図っていかならんなということがあると思うんですけども、そういう図り方はしてないんですかな。

◎福井輝夫委員長
産業観光部参事。

●松田産業観光部参事

おっしゃるとおり農業用排水機場単独での考え方ですと、なかなか能力アップというのは難しいところがございますので、現在庁内でも関連部署と一緒に調査検討のほうも進めているところがございます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

何かお話を聞いておると、国の補助がもらえんからそこはできんのやというようなことで片つくんだらうかと思うんですけど、やっぱり市内のそういった場所での浸水被害というのは国の事業がないとできないということではなくて、国からもらう補助プラス横出しをしてでも市の予算の補正でも組んででもやるというような態度でいかないと、なかなか

か浸水被害というのは収まらんとは思いますが、そのあたりどうでしょうか。

◎福井輝夫委員長

都市整備部長。

●荒木都市整備部長

委員おっしゃるとおり、浸水対策と全体で捉まえた場合は、農業用ということのみでなくて、全体として、ポンプ機能であったり、その他、河川とかいろんな改良対策を講じていかなければいけないというふうに感じておるところでございます。

ただ一方で、多大な事業費、大きな事業にこれは浸水対策はなっていくしますので、国・県と一緒にやっていく、国の補助を活用していくということは、結果的には伊勢市の限られた財源の中で効果を発揮するには必要なことであるというふうに考えております。農業用の話が出てましかども、農業用の排水機場の補助も活用して、浸水機能をアップする、それで及ばないところについては、都市整備部の部署であったり、下水の部署で連携して、全体として浸水対策を進めていきたいとそうように考えています。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

今のお答えで納得するわけでありましてけれども、やはり長寿命化というのはあくまで、能力がもう万全になっておって、更新時期を少し先延ばしするために、ある程度問題がある箇所というのが課題の箇所を修繕をしていくということで延ばしていく事業ですよ。

私が申し上げるのは、もともとやはりこのあたりは農業排水やけれども、やはりポンプを増強して、浸水対策にも使えるような状況にしていくというところがもう僕は何か所もあると思うんですよ。それをやはり国の事業ということでやめられておっては、なかなかそれは長寿命化と更新時期に合わないと思うんで、そのあたりは検討をしていただきたいと思っています。

選ばれた観光地のことで少しお伺いをしたいんですけれども、この中で選ばれたということ言われて、伊勢市のお木曳の関係の御質問がありました。

事業を取り巻く状況の中で、観光地というのは、ソフト事業とハード事業があるということなんですけれども、ここに書いてもらっておるように、受入れをする環境としては、やはりハード事業ということに相当力を入れてもらわんといかんかなと。そうすると、観光といつも申し上げておりますけれども、都市整備のほうとの連携というのは、相当密に考えて長期間にわたってやる事業ではないかなと、こんなことを思うんですけれども、そのあたりの考え方を教えてください。

◎福井輝夫委員長

観光振興課長。

●吉居観光振興課長

観光地のハード整備、もしくは受入れ環境の充実というところでございます。

今現在も二次交通のことでありまして、例えば受け入れるためのトイレのことでありまして、そういったことを含めて、都市整備部とは連携を密にしていろんな事業を検討しているところでございます。以上です。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

私はトイレの話しとるわけではなくて、申し訳ないけど、それなら交通渋滞の話はどのように検討されておるんですか。

◎福井輝夫委員長

観光振興課長。

●吉居観光振興課長

例えば、週末であつたり、3連休であつたり、いろんな市内の状況ございます。そういったところを交通政策課とも情報共有しながら、新たな看板であつたり、新たな取組であつたりというところをいろいろ研究、検討しておるところでございます。以上です。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

いや今の話なら抜本的な解決にはなってないですよ。看板を出したり何かするというのは、「これずっとここ混雑してますから迂回路がありますか」って迂回路はないとは思いますが。そういう話であって、ハード事業というのはそういうことではないですね、僕が質問申し上げとるのは。もう一度お答え願えますか。

◎福井輝夫委員長

観光振興課長。

●吉居観光振興課長

例えば、交通渋滞に伴うハード事業をとといいますと、私どものほうから今観光交通についてという予算は持ち合わせてない部分もございますので、そのあたり、交通政策課といういろいろ情報を密にして、現在、先般でも、これからの構想について、御報告させていただいたそういったところに参画しておるというような状況です。以上です。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

それは今の話聞いとると、観光としては、ハード事業として選ばれた観光地ということ、また、私が申し上げるような渋滞対策として長期にわたってやっていくということは何も考えてないというように私は受け止めたんですけど。実際に鳥羽松阪線なんていうのは、観光だけではなくてもう日常渋滞があるわけです。それで、外宮へ来てくれ、内宮へ来てくれというようなことを申し上げておるわけですね。それ一向に進んでないわけでありすけども、京都なんかはもう交通渋滞で大変なわけでしょう。だから京都の事情と一緒にしようとは思いませんけれど、伊勢市もあちこちがもう渋滞ということになって、バスが運行されるようになってくると、ここの前の道は、もう全然動かないような状況がありましたよね。だから観光として、そのあたりのことをどのように考えていくんかと、観光は当然予算を持っていませんから、都市整備のほうと、それと都市計画として、このあたりをどうしていくかということは、長期にわたって考える話だと思うんですね。そのあたりのことを私はお聞きをしとるわけです。こんな看板を出してどうのこうのと言うとる話ではなくて、ハードとして、ここの路線はきちっと整理をしていこうと、それがやはり選ばれる観光であって、こんなに渋滞があるんやったらもうやめとくかみたいな話にならんようにやるっていうのが観光事業だと思うんですけど、そのあたりどうでしょう。

◎福井輝夫委員長

都市整備部長。

●荒木都市整備部長

ハード整備ということでお答えをさせていただきます。

まず、観光地、特に今でも対策を講じておる内宮周辺であったり、外宮周辺であったりというところについては、先般でも内宮の五十鈴公園の周辺で立体駐車場という考えをお示しさせていただいたところです。

渋滞対策と言いますと、やはり駐車場の問題、それから道路問題というのが大きな問題でございます。駐車場については、一番混雑するところを今構想というか計画を立てておる立体駐車場で行っていきたいと。それプラス、その他もろもろ駐車場の機器であったりとか、誘導であったりとか、そういったものでその効果を大きくしていくと。そのほかの道路の渋滞につきましては特に混雑するというのは、県道も国道も多うございます。ですので、特に道路整備については、すぐにできるというような、1年、2年で完成するようなものはございませんので、そこはいろいろ協議する場がございますので、連携して取り組んでいきたいと、そのように考えています。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

私も何度も申し上げておるように、単年度で、1、2年で解決するような状況じゃないと思う。だから長期にわたって、どういう変革を持っていくかというようなことを観光事業と一緒にやっていかないと、もうここの前の県道なんかは観光関係ないにしても市民から、大変渋滞があって、何でこんな混むんやろなど、だからこの信号の時間の何かやり取りというのか、そのあたりの信号機の課題なんかなというように話を言われる人がおるんですけど、やっぱりここから外宮へ行こうとなると、真っすぐ行かずに左に曲がってそれから右折していくわけですね。こういうことがこれからもどんどんいいのか。バスもそこで市内からのバスとがっちゃんして、そこの百五の交差点はもう大変な状況になるということ、もう以前にも観光客数が伸びたときに、非常にバス会社からも苦情があったとこだと思うんですけども、そのあたりがもう選ばれて観光地にしていこうということになったら、そこら辺の軽減をしていくということは、一つの目標になる話ですから、それはもう観光だけの予算でやってくれなんていうことを僕は申し上げとるわけじゃなくて、やはり数年にわたるものであるから、都市整備、また都市計画として、このあたりをどうしていくかという、それはもう日常の市民サービスにもつながる話ですから、そのような考え方でやってほしいと思います。

部長からお答えをいただいたので、着実に進んでいくだろうということを期待をしておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

16ページに外国人観光客の誘致ということでお示しをいただいておりますけれども、もともと令和6年8月期において、何年何月からですか、この参拝者というのは実際どれぐらいおるんですか。

◎福井輝夫委員長

観光誘客課長。

●北村観光誘客課長

最新の数字になりますが、令和6年10月末現在の数字で言いますと、神宮参拝者数全体が620万9,072人になっております。そのうち、外国人の参拝者数は9万1,141人ということで、先ほどの全体の1.47%ということになっております。以上です。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

やっぱりこの事業を取り巻く状況のところを読ませていただいても、何か抜けが多いというのか、今言わせていただいたような全体の数字がいくらで、その1.4%が、この7万2,000何がしですよってというようなことなら、あとこれを上げていくのに先ほどの議論じゃないですけども、やはりそういった観光客、また外国人の観光客をお迎えするについて、課題があるということやったらそれに向けての、きちっとした事業をやりたいなと、こんなことを思うんですけども、そのあたりの考え方を教えてください。

◎福井輝夫委員長
観光誘客課長。

●北村観光誘客課長

先ほどの中でもありましたが、まだまだその伊勢っていうところの認知がされていないというところで、プロモーションの仕方、そこに関してはまだまだ課題があると考えております。そのあたりについては今後いろいろ勉強しながら取り組んでいきたいのと、同時に受入れの部分も必要になってくると思いますので、観光全体の中でどのようにやっていくかっていうのは議論しながら進めていきたいと考えております。以上です。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

18ページの岡本吹上線の無電柱化の話なんですけれども、私は電線共同化というのはもうやはりこれから、やるべき事業だとは思いうんですけれども、外宮周辺の無電柱化ということでということが書いてあります。外宮の周辺だけ進めていくんかなということで読ませてもらったんですけれども、実際これ7年ぐらいかかるわけでしょう、宇治山田だけの。岡本吹上線だけで。本当次かかって、この周辺が済むんかなというのは、何年頃になるんかなということをちょっとお聞きをしたいんですけど。

◎福井輝夫委員長
基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

岡本吹上線につきましては、令和12年を目標に今進めておるところでございます。

また、外宮周辺でございますけども、三重県のほうが伊勢南島線のほうを無電柱化進めていただいておりますので、そちらのほうも今後も含めて進めていただいておりますけども、市で行う無電柱化事業につきましては、次の路線というのは、今現在、まだ決定はしていない状況でございますので、岡本吹上線の進捗を見ながら、次の路線というのは検討していきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

申し訳ないんですけれども、外宮の周辺の無電柱化といいながら、南島線のちょっとどのあたりか私想像がつかないので、その辺りをやってそれはもうそれで進んでいく。でもそんなに予算が取れないんやということは担当の方からもお聞きをしとるんですけれども、お木曳行事については20年に一回、この市内を引き回して陸曳があるわけです。それにつ

いても、ここに電柱、電線がなかったらもうちょっとスムーズにいくのになって言って、今はまあ電線がそんな下へぶら下がるとるようなことはないかとは思うんですよね。前はそれを上げる、なんていう器具なのかそんなもんもついてやっておったので、何か伊勢がやっとなんかというんか、三重県がそれに納得してやっとなんか無電柱化ということが、どうも方向違うんじゃないかな。例えばお木曳で車がよく走るところについては優先して無電柱化やっていくんやと。観光についても、やはり景観の話からすると、伊勢市駅、宇治山田駅を降りたら、景観が随分違いますからね。無電柱化にしていくんやというような何かそんなものがあるかと思うと、全然違うところが無電柱化の工事をやっておるので、そのあたりのことは私はちょっと疑問で御質問申し上げているんです。ここには「外宮周辺の」って書いてあるけど、そんなに周辺のところで始まったというのはあまり見えてないので、だから、何年でそのあたりのことが終わるのかなというのを聞きをしたかったわけです。

◎福井輝夫委員長

基盤整備課長。

●見並基盤整備課長

外宮周辺という書き方させていただいてますけども、先ほど御説明しました三重県の無電柱化事業ですけども、伊勢南島線で外宮前の交差点から辻久留のほうへ向かって、今現在無電柱化を進めていただいております、そちらにつきましては、お木曳で使用する県道になりますので、そちらのほうは御遷宮に合わせて無電柱化のほうを進めていただいているという状況でございます。

また、市のほうの宇治山田駅前の岡本吹上線につきましても、観光客の乗降客の多い宇治山田駅前でございますので、そちらも観光客でありますとか、もちろん景観の部分、防災の部分も含めて、今優先的に進めておるという状況でございます。以上でございます。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

予算が必要なことというのはよく分かるし、三重県がね、優先して取り組んでもらっておるということもよく分かるんですけど、伊勢単独でやれってことはなかなか予算的には難しい話っていうことも分かりますけれども、なんせ調査が入って補償をして、移設の関係をして2、3年ということじゃないんですよね。6年も7年もかかるということになると、これで300メートルぐらいということで予算が載ってますけど、1キロメートル、2キロメートルということになると、いつになんねんって話ですから、そのあたりはやはり、予算獲得については、やはり市長、副市長にお願いをして、しっかり国・県のほうとの絡みをして、予算獲得をやってもらおう。けども、それには伊勢市のほうで書いた計画っていうのがやっぱり必要だと思うんですよ。こことこことこだけはもう大至急やりたいんやというようなことをしないと、お木曳行事には全然間に合わん話だと思うし、そのあたりを何とかね、頑

張ってやっていただきたいと、こういうことで終わらせていただきたいと思います。

住宅建築の耐震の話ですけれども、1点だけお聞かせをください。

シェルターの話が当然出てきて、予算化されてやっておりますけれども、今回この10月で半年はたちました。このシェルターの設置まで話が行ったというのは何件ぐらいあるのでしょうか。

◎福井輝夫委員長

住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

お答えいたします。

設置済みの確認ができているものということですか。

○宿典泰委員

今手を挙げておる方と設置をした方をお聞きをしたい。

●山崎住宅政策課長

今受け付けが7件ございます。設置済みのほう、ごめんなさいちょっと今数字つかんでないんでまたお知らせさせていただきたいと思います。今現在7件の申請を受け付けております。以上です。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

ごめんなさい、一緒に聞けばよかったんですけど、予算としてはどれぐらい使ったんですか、7件で。

◎福井輝夫委員長

住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

今のところですけども1件、100万円の勘定で、700万円ということになっております。以上です。

◎福井輝夫委員長

宿委員。

○宿典泰委員

どんな方法が耐震でいいとか安全性の話とかあると思うので、やはりそのあたりの広

報だけはしっかりやっていただいて、お願いをしたいと思います。

訪問の話もありましたけれども、訪問のときに皆さん身分証というのはちゃんと見せるんでしょう。

◎福井輝夫委員長
住宅政策課長。

●山崎住宅政策課長

職員証とそれから名札をつけて回らせていただいておりますので、そこはきちんとお示しさせていただきながらお話をさせていただいているという状況でございます。以上です。

◎福井輝夫委員長
宿委員。

○宿典泰委員

今フルネームが入ってませんから。それがいいんか悪いんかちょっと分かりませんが、身分証をしっかりと戸別訪問についてはお見せして、きちっと納得していただけるようにしてから訪問をしていただきたいなと、こんなことを思います。

田舎じゃありませんので、鍵がかかってないもんで入っていくということはないと思うので、そのあたりのことだけきちっと理解していただけるようにやってください。お願いします。ありがとう。

◎福井輝夫委員長
他に御発言はございませんか。
野口委員。

○野口佳子委員

私は15ページのところで、バリアフリー観光の推進のところでちょっとお聞きしたいんですけれども、「車いすでの観光へのサポートや視覚障がい者向けのサポート実施に向けて研修等」を行っていただいているということなんですけど、どのような研修を行っていただいているんでしょうか。

◎福井輝夫委員長
観光振興課長。

●吉居観光振興課長

バリアフリー観光の推進のところでございます。

視覚障がい者向けの案内サポート研修というのを今年度前期で内宮エリアで2回ほど実施していただきました。以上です。

◎福井輝夫委員長
野口委員。

○野口佳子委員

すみません。内宮さんのところで2回ほどと言われたんですけど、外宮さんのほうではしないんですか。

◎福井輝夫委員長
観光振興課長。

●吉居観光振興課長

昨年度は一部外宮のほうでも実施させていただいた部分もございますが、状況に応じて委託先と検討しながら、こういった研修も実施していきたいと考えております。

○野口佳子委員

ありがとうございます。

◎福井輝夫委員長
他に御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

他に発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。

続いて委員間の自由討議を行います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

発言もないようですので、自由討議を終わります。

本件につきましては、今回の審査をもって調査を終了するという事で御異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫委員長

御異議なしと認めます。本件については調査を終了いたします。

以上で、御審査いただきます案件は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時53分

上記署名する。

令和 6 年11月18日

委 員 長

委 員

委 員